



高山西ロータリークラブ

No. 2210 回 例会 平成 23 年 5 月 13 日
会員スピーチ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会長 鍋島 勝雄
●幹事 中村 良平
●会報委員長 米澤 久二



「五月上旬の牧歌の里」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

名古屋に於きまして、今月 11 日、小泉純一郎元総理大臣と評論家田中直毅氏の特別対談に行ってきました。参加については大垣共立銀行の河尻支店長には御世話になりました。



小泉元総理には、一昨年の伊勢市で行なわれたロータリー地区大会の講演での迫力溢れるバイタリティーを期待して行きましたが、少し迫力に欠け今の震災で遠慮をされている感が有りました。しかし、対談の内容は的を得ていたと感じました。

一番印象に残ったことは、震災に付いて今後の対策で政治家が被災者の要望を何処まで聞き入れるか。一つの例として、北海道奥尻島の津波被害にて 4 千億円近くを掛け、住宅を高台に移し漁港を耐震構造にし立派になったが現在住民は減少し、漁民は半減した現状である。三県（岩手・宮城・福島）には 1 6 3 港が有り、漁港について全部の復旧をしたとしたら何兆円掛かるか分からないが、その費用は途方も無く掛かることは覚悟をしなければならず、日本国民に相当な負担は避けられない。と同時に災害復旧工事以外の公共工事に掛かる予算は減少されるだろう、と発言されました。

我社は今月 5 月決算期を迎え何とか黒字にて終了出来そうですが、来期予想には一抹の不安を残しています。公共事業に頼っている部分が多くあり今後の推移を見守ると同時に、生き残りの為に社員全員で知恵を出し合っていく覚悟を決めました。

<幹事報告>

◎ガバナーエレクト事務所、ガバナー会より

・「ガバナー会への義援金の集計報告と今後の支援方針について」
義援金集計状況

5/2 現在 約 7 億 8 千万
協力要請(案)

「災害復興支援金」として、会員一人当たり 10,000 円の拠出
今後の支援活動(予定)

(1)災害遺児の教育環境支援プログラム

…中学・高校・大学・専門学校生への奨学金支援



(2)ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム

…非被災 5 クラブが 1 つのグループを作り、被災 1 クラブを物心両面で支えるプログラムの展開

◎はぐるま会より

第 1 6 5 回はぐるま会開催のご案内

日時 6 月 1 2 日(日) 1 2 : 3 6 スタート

場所 飛騨高山カントリークラブ

懇親会 山陣

会費 8,000 円 締切 5 月 2 7 日

◎高山市都市提携委員会より

高山市・松本市姉妹都市提携 40 周年記念式典の開催について

日時 5 月 2 9 日(日) 午前 1 1 : 4 0 より

場所 野麦峠お助け小屋周辺

式典内容 工女姿の中学生による共同声明文朗読 等

◎高山市社会福祉協議会より

・平成 23 年度高山市社会福祉協議会第 1 回評議員会開催について

日時 5 月 3 0 日(月) 午後 2 時より

場所 総合福祉センター 3 階作業室

議題 ・平成 22 年度事業報告の認定について

・平成 22 年度一般会計及び

特別会計資金収支決算の認定について

◎光記念館より

・特別企画展のご案内および招待券・優待券

マチュピチュ遺跡発見 100 周年記念 謎の文明 インカ・マヤ展

期日 5 月 2 8 日(土)~9 月 4 日(日)

<受贈誌>

ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま 1 3 4)、高山・デンバー友好協会(高山・デンバー友好協会通常総会資料)、高山市都市提携委員会(高山市都市提携委員会会議資料)、飛騨高山国際協会(飛騨高山国際協会通常総会資料)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	法定休日	のため	補正	ありま	せん
本日	37 名	-	37 名	43 名	86.05%

地域を育み大陸をつなぐ

例会報告

＜本日のプログラム＞

会員スピーチ

河尻 浩次



【大垣共立銀行の歩み】

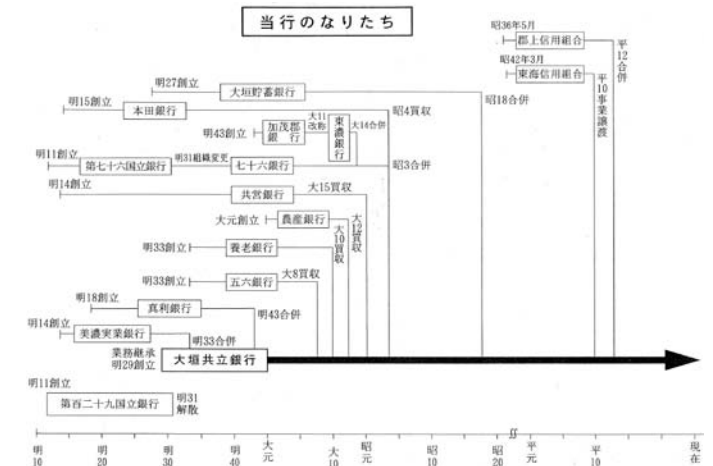
時は、明治時代に遡ります。大垣共立銀行の前身である、第129国立銀行が明治11年に旧大垣藩の士族により大垣に設立されました。明治15年に中央銀行として日銀（日本銀行）が設立され、国立銀行条例の改正により、国立銀行の営業期限を20年と定め、その後は、普通銀行に転換できるようになりました。

当時、全国には、152の国立銀行が乱立しておりました。明治13年頃、岐阜県には、6つの国立銀行があり、競争も激化しておりましたので、129銀行も営業期限に先駆けて、業務を継承する銀行を設立する計画をしました。旧大垣藩の士族を中心に西濃地方の有力者が加わって、明治29年に大垣共立銀行が誕生し、129銀行の業務を継承いたしました。大垣共立銀行の名前の由来は、それまでの、士族による士族のための銀行から、「農・工・商が共に協力して設立しよう」という想いから、生まれたものでございます。

3月9日が、創立記念日です。その後、岐阜県の西濃を中心に周辺の銀行をいくつか合併して行きました。明治37年からの日露戦争後、わが国の経済は、一時的に好況期を迎えましたが、40年からの、株式の暴落をはじめとした経済混乱期に入り、当行は、この事態に対処して、将来の堅実な発展の基礎を固めるため、明治42年に、安田財閥の傘下に入り、経営のバックアップを依頼する道を選択しました。但し、この時期に多くの銀行が大財閥の資本に吸収されたのとは異なって、当時の関係は人材派遣等を通じた指導的・援助的なものにとどまり、経営の自主性が最後まで尊重されたことが、大きな特徴でございます。この時期、明治35年頃、普通銀行の数は、全国で1,890行にもおよび、岐阜県内でも、49行の普通銀行が、激しい競争を展開しておりました。大正時代に入って、大正9年・大正11年の恐慌も、何とか乗り越え、大正12年に名古屋の大曾根にあった、農産銀行を合併いたしました。これが、愛知県へと進む第一歩となりました。

昭和時代に入って、昭和2年の金融大恐慌がおりましたが、これも無事に乗り越えました。しかし、昭和11年に、いわゆる「1県1行政策」が政府から打ち出され、岐阜県にも金融再編成の気運が高まりました。この流れを受けて、当時、岐阜県に本店を持つ普通銀行は、昭和10年で10行ありましたが、昭和12年には、6行に再編成され、昭和16年には、4行に、そして昭和20年には、

2行へと集約が進みました。この頃までには、ほとんどの都道府県で、1県1行の金融再編成が完了しておりました。そして、終戦とともに、日本の民主化政策の一つとして、財閥解体が推進され、安田保善社も解体となり、戦後、大垣共立銀行独自の路線・歩みが、改めてスタートいたしました。そして、今日に至っております。これが、当行のなりたちでございます。（詳しくはホームページをご覧ください。）



＜ニコニコボックス＞

●鍋島 勝雄さん

名古屋にて、小泉元首相の講演会を聞いて来ました。大垣共立銀行の河尻支店長、ありがとうございます。2時間有意義な時間でした。また、本日はスピーチ楽しみにしています。

●中村 良平さん

昨日帰宅すると、妻が「花が届いているよ」と。シマッタ、ケーキ買って来るの忘れた…。この10年同仕事の繰り返し。ああ、年はとりたくないですね。まずは妻への誕生日の花、ありがとうございました。

●折茂 謙一さん

結婚祝いありがとうございました。

●新田 敬義さん

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

●垣内 秀文さん

先週例会時、結婚記念日のお祝いの品を忘れてきてしまいました。まだ12時前だったので、慌てて帰って包装のしを準備してなんとか事なきを得ました…が先週ネームプレートを持って帰ってしまい、今日別の上着を着てきてしまい、忘れてしまいました。来週は…新緑例会欠席のためスマメン。再来週持って来ます

●古橋 直彦さん

櫻山八幡宮の式年大祭は、おかげさまで天候にも恵まれ、無事終了しました。渡御された各神社と役員、ご奉仕された皆様感謝しニコニコへ。